



## 2021年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月14日

上場会社名 小津産業株式会社  
 コード番号 7487 URL <https://www.ozu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 理事管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 今枝 英治  
 (氏名) 三崎 剛志  
 TEL 03-3661-9400

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年5月期第2四半期の連結業績(2020年6月1日～2020年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第2四半期	20,259	2.0	489	115.9	505	97.4	345	154.7
2020年5月期第2四半期	19,857	3.6	226	45.8	255	43.3	135	50.3

(注) 包括利益 2021年5月期第2四半期 1,035百万円 (24.7%) 2020年5月期第2四半期 830百万円 ( % )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第2四半期	41.23	
2020年5月期第2四半期	16.20	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第2四半期	24,340	15,813	64.9
2020年5月期	25,042	14,944	59.6

(参考) 自己資本 2021年5月期第2四半期 15,806百万円 2020年5月期 14,935百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期		0.00		21.00	21.00
2021年5月期		0.00			
2021年5月期(予想)				21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日～2021年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,200	18.9	720	42.4	770	34.7	520	8.9	62.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年5月期2Q	8,435,225 株	2020年5月期	8,435,225 株
期末自己株式数	2021年5月期2Q	52,158 株	2020年5月期	57,273 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年5月期2Q	8,380,508 株	2020年5月期2Q	8,373,234 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の業績を保証するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご高覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年6月1日～2020年11月30日)の業績は、売上高202億59百万円(前年同期比2.0%増)、経常利益5億5百万円(前年同期比97.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億45百万円(前年同期比154.7%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の状況は以下のとおりであります。

## (不織布事業)

エレクトロニクス分野では、情報通信分野・製薬関係が堅調に推移、また車載用電子部品に回復の兆しが見られるものの新型コロナウイルス感染症の影響により東南アジアにおける工場稼働率の低下の影響を受け、前年同期に比べ、売上高、利益面とも横ばいとなりました。

メディカル分野では、新型コロナウイルス感染症対策の衛生材料が好調推移し、売上高、利益面とも前年同期を上回りました。

コスメティック分野では、東アジア市場向けの販売が増加に転じたものの、国内販売が低調に推移し、前年同期に比べ、売上高は横ばい、利益面は減少いたしました。

小津(上海)貿易有限公司では、5G関連でエレクトロニクス分野の需要が復調するも、エレクトロニクス分野以外が減速し、前年同期に比べ、売上高は横ばい、利益面は減少いたしました。

ウェットティッシュ等の製造販売を営む株式会社ディプロでは、除菌ウェット製品が好調推移し、売上高、利益面とも前年同期を上回りました。

アグリ分野を担う日本プラントシーダー株式会社では、国内外ともに販売が減少した影響により、売上高、利益面とも前年同期を下回りました。

これらの結果、売上高は69億65百万円(前年同期比3.2%増)、セグメント利益は3億41百万円(前年同期比26.6%増)となりました。

## (家庭紙・日用雑貨事業)

当事業を担うアズフィット株式会社につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、マスクや除菌製品の需要が増加いたしましたが、得意先の商流変更の影響を受けました。結果、前年同期に比べ、売上高は微増、利益面は増加いたしました。

この結果、売上高は132億40百万円(前年同期比1.5%増)、セグメント利益は1億24百万円(前年同期は65百万円のセグメント損失)となりました。

## (その他の事業)

その他の事業(除菌関連事業および不動産賃貸業)につきましては、売上高は52百万円(前年同期比14.9%減)、セグメント利益は23百万円(前年同期比9.1%増)となりました。

(注) 日本プラントシーダー株式会社およびアズフィット株式会社の決算期は2月末日のため、当第2四半期連結累計期間には各社の2020年3月から2020年8月の実績が、株式会社ディプロおよびエンビロテックジャパン株式会社の決算期は3月末日のため、当第2四半期連結累計期間には各社の2020年4月から2020年9月の実績が反映されております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べて7億2百万円減少し、243億40百万円となりました。主な要因は、「投資有価証券」の増加10億7百万円、「現金及び預金」の増加2億84百万円、「受取手形及び売掛金」の減少16億81百万円であります。

## (負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて15億70百万円減少し、85億27百万円となりました。主な要因は、「繰延税金負債」の増加3億37百万円、「支払手形及び買掛金」の減少14億68百万円、「短期借入金」の減少2億円であります。

## (純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて8億68百万円増加し、158億13百万円となりました。主な要因は、「その他有価証券評価差額金」の増加6億86百万円、「利益剰余金」の増加1億69百万円であります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2億84百万円増加し28億53百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は8億49百万円(前年同期は1億56百万円の使用)となりました。収入の主な内訳は、「売上債権の増減額」16億86百万円、「税金等調整前四半期純利益」5億3百万円であり、支出の主なものは、「仕入債務の増減額」14億68百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億81百万円(前年同期比7億88百万円減)となりました。支出の主な内訳は、「無形固定資産の取得による支出」1億39百万円、「有形固定資産の取得による支出」49百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3億75百万円(前年同期比1億95百万円増)となりました。支出の主な内訳は、「短期借入金の純増減額」2億円、「配当金の支払額」1億75百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績および今後の見通しを勘案した結果、2020年7月9日公表の予想値を以下のとおり修正いたしました。詳細につきましては、本日(2021年1月14日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本業績予想修正値におけるアズフィット株式会社の業績予想値は、2020年3月から2020年11月までを連結子会社として、2020年12月から2021年2月までを持分法適用関連会社として計上しております。

## 当期の連結業績予想数値の修正(2020年6月1日～2021年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 40,000	百万円 600	百万円 640	百万円 470	円 銭 56.12
今回修正予想(B)	33,200	720	770	520	62.05
増減額(B-A)	△6,800	120	130	50	—
増減率(%)	△17.0	20.0	20.3	10.6	—
(参考)前期実績 (2020年5月期)	40,941	505	571	570	68.12

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,569,712	2,853,827
受取手形及び売掛金	8,380,532	6,699,521
商品及び製品	1,507,900	1,512,290
原材料	602,081	596,479
その他	677,993	524,279
貸倒引当金	△183	△40,280
流動資産合計	13,738,037	12,146,118
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,856,774	6,864,233
減価償却累計額	△3,453,682	△3,547,878
建物及び構築物(純額)	3,403,091	3,316,355
機械装置及び運搬具	2,107,048	2,172,256
減価償却累計額	△1,369,076	△1,473,603
機械装置及び運搬具(純額)	737,971	698,652
土地	2,272,153	2,272,153
その他	549,995	550,611
減価償却累計額	△334,081	△368,490
その他(純額)	215,913	182,121
建設仮勘定	28,666	—
有形固定資産合計	6,657,796	6,469,282
無形固定資産		
その他	87,530	207,856
無形固定資産合計	87,530	207,856
投資その他の資産		
投資有価証券	3,980,767	4,988,531
長期貸付金	56,528	5,930
繰延税金資産	23,261	22,449
その他	508,116	504,452
貸倒引当金	△9,076	△3,889
投資その他の資産合計	4,559,597	5,517,473
固定資産合計	11,304,925	12,194,613
資産合計	25,042,962	24,340,732

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,887,229	3,419,119
短期借入金	1,670,000	1,470,000
未払法人税等	184,567	146,594
賞与引当金	41,887	67,813
その他	931,547	703,495
流動負債合計	7,715,232	5,807,022
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	850,000	850,000
繰延税金負債	777,249	1,114,727
退職給付に係る負債	173,775	179,722
その他	82,332	76,232
固定負債合計	2,383,357	2,720,682
負債合計	10,098,589	8,527,705
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,322,214	1,322,214
資本剰余金	1,385,463	1,388,866
利益剰余金	10,449,393	10,619,001
自己株式	△67,719	△61,720
株主資本合計	13,089,351	13,268,362
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,852,571	2,539,188
為替換算調整勘定	△6,220	△624
その他の包括利益累計額合計	1,846,350	2,538,564
非支配株主持分	8,670	6,100
純資産合計	14,944,372	15,813,026
負債純資産合計	25,042,962	24,340,732

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
売上高	19,857,586	20,259,206
売上原価	16,904,843	17,013,938
売上総利益	2,952,743	3,245,267
販売費及び一般管理費	2,725,974	2,755,584
営業利益	226,768	489,683
営業外収益		
受取利息	1,776	1,716
受取配当金	32,526	39,490
その他	9,616	22,984
営業外収益合計	43,919	64,191
営業外費用		
支払利息	6,877	6,977
売上割引	1,342	1,580
持分法による投資損失	2,911	710
貸倒引当金繰入額	—	34,267
その他	3,769	5,304
営業外費用合計	14,900	48,840
経常利益	255,787	505,033
特別利益		
固定資産売却益	557	—
投資有価証券売却益	38	0
ゴルフ会員権売却益	1,100	—
特別利益合計	1,696	0
特別損失		
固定資産除却損	3,698	359
投資有価証券評価損	—	1,218
特別損失合計	3,698	1,578
税金等調整前四半期純利益	253,785	503,455
法人税、住民税及び事業税	105,500	141,087
法人税等調整額	11,385	19,393
法人税等合計	116,886	160,480
四半期純利益	136,899	342,974
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,223	△2,570
親会社株主に帰属する四半期純利益	135,675	345,545

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	136,899	342,974
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	694,184	686,617
為替換算調整勘定	△910	5,596
その他の包括利益合計	693,273	692,213
四半期包括利益	830,172	1,035,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	828,949	1,037,759
非支配株主に係る四半期包括利益	1,223	△2,570

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	253,785	503,455
減価償却費	127,568	251,665
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,685	34,911
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,220	25,925
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,614	5,946
受取利息及び受取配当金	△34,302	△41,207
支払利息	6,877	6,977
為替差損益(△は益)	54	2,125
持分法による投資損益(△は益)	2,911	710
有形固定資産売却損益(△は益)	△557	—
有形固定資産除却損	3,698	359
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,218
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	△1,100	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,289,130	1,686,517
たな卸資産の増減額(△は増加)	△117,304	6,296
仕入債務の増減額(△は減少)	662,949	△1,468,109
未払消費税等の増減額(△は減少)	7,479	34,173
その他の資産の増減額(△は増加)	210,194	202,037
その他の負債の増減額(△は減少)	43,119	△263,916
その他	8,821	2,304
小計	△108,784	991,391
利息及び配当金の受取額	34,308	41,213
利息の支払額	△6,872	△6,883
法人税等の支払額	△75,367	△176,594
営業活動によるキャッシュ・フロー	△156,716	849,127
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,158,687	△49,581
有形固定資産の売却による収入	779	—
無形固定資産の取得による支出	△5,375	△139,095
投資有価証券の取得による支出	△5,395	△4,178
投資有価証券の売却による収入	104	0
貸付けによる支出	△300	—
貸付金の回収による収入	748	10,598
定期預金の払戻による収入	200,000	—
その他	△2,361	383
投資活動によるキャッシュ・フロー	△970,488	△181,872
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△20,000	△200,000
自己株式の取得による支出	—	△138
配当金の支払額	△158,919	△175,701
リース債務の返済による支出	△1,618	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△180,537	△375,840
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△7,299
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,307,747	284,115
現金及び現金同等物の期首残高	4,566,637	2,569,712
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,258,890	2,853,827

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2019年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,749,814	13,045,460	19,795,274	62,312	19,857,586	—	19,857,586
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,913	8,143	24,057	62,350	86,407	△86,407	—
計	6,765,727	13,053,603	19,819,331	124,662	19,943,994	△86,407	19,857,586
セグメント利益又は損失(△)	269,574	△65,164	204,410	21,891	226,302	466	226,768

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び除菌関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額466千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2020年6月1日至2020年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,965,664	13,240,543	20,206,207	52,998	20,259,206	—	20,259,206
セグメント間の内部売上高又は振替高	75,526	28,580	104,106	64,404	168,511	△168,511	—
計	7,041,190	13,269,124	20,310,314	117,403	20,427,717	△168,511	20,259,206
セグメント利益	341,218	124,998	466,216	23,883	490,099	△416	489,683

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び除菌関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△416千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

当社は、2020年12月10日開催の取締役会において、当社の特定完全子会社であるアズフィット株式会社（以下、「アズフィット」）の株式の80%をセンコーグループホールディングス株式会社へ譲渡することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

## 1. 株式譲渡の理由

当社グループは、「紙と不織布」を核とした製造商社として事業を展開しております。当社並びに連結子会社である株式会社ディプロ、日本プラントシーダー株式会社及びエンビロテックジャパン株式会社では、エレクトロニクス分野、メディカル分野、コスメティック分野、コンシューマー分野、アグリ分野、除菌関連分野で機能性不織布製品を中心に製造・販売しております。

また、連結子会社のアズフィットでは、首都圏を中心にドラッグストア、スーパーマーケット、ホームセンター及びビル管理会社に対して、家庭紙・日用雑貨の販売を行っております。

本件の対象である家庭紙卸売業界においては、物流環境の変化、小売市場の変化により、近年卸売業に求められる要求レベルが高まっております。その中であって、当社と同じく家庭紙卸売業の子会社（アスト株式会社）を有する総合物流企業のセンコーグループホールディングス株式会社とより強く結びつき、より強固な事業基盤を目指すこととなりました。アズフィット並びにセンコーグループホールディングス株式会社（及びアスト株式会社）は、互いに有力な仕入メーカー及び得意先を有しておりますが、本件による相乗効果により両社の優位性を更に高めることが最良の選択肢であるとの結論に至りました。

コロナ禍のもと、当社グループは、株式会社ディプロの除菌ウェット製品、エンビロテックジャパン株式会社の過酢酸製剤（除菌用途）並びに当社及びアズフィットにおけるマスクを市場に供給させていただいております。本件完了後においても、アズフィットでは当社グループ製品の拡販に一層努め、本件の効果の実現を図ってまいります。

## 2. 譲渡する相手会社の名称

センコーグループホールディングス株式会社

## 3. 譲渡の時期

株式譲渡契約締結日 2020年12月10日

株式譲渡実行日 2021年1月（予定）

## 4. 当該子会社の名称、事業内容及び会社との取引関係

名称	アズフィット株式会社
事業内容	家庭紙・日用雑貨及び事務用品の卸売、企画販売
会社との取引関係	商品の売買取引及び不動産の賃貸借取引

## 5. 譲渡する株式数、譲渡価額及び譲渡後の持分比率

譲渡前の所有株式数	60,001株（所有割合：100%）
譲渡株式数	48,000株
譲渡価額	株式譲渡契約書における守秘義務を踏まえ、開示を控えさせていただきますが、公正なプロセスを経て決定しており、当該子会社の企業価値に見合った価額であると判断しております。なお、社外役員から公正性について賛同を得ております。
譲渡損益	特別損失として関係会社株式売却損を140百万円程度計上する見通しです。
譲渡後の所有株式数	12,001株（所有割合：20%）